



ヨゼフ アベイヤ司教認可
発行所 福岡教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック 福岡司教区
編集人 下町豊重
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック 福岡司教区
定価 一部70円

5月の意向
【世界共通】金融の世界
【日本の教会】病者
教皇様の意向のために祈りましょう

ひとつになろう 福岡教区 司教座聖堂（カテドラル） 献堂記念日

4月13日（火）、福岡教区司教座聖堂（大名町教会）の
献堂記念日であるこの日、記念するミサが10時からヨゼフ・
アベイヤ司教の主司式のもと行われた。司教座聖堂（シ
キようざせいどう）とは、司教が司式を行うための着座椅
子「司教座」（ラテン語：cathedra）が置かれた、教区
の中心となる教会の聖堂である。この日集まった信徒は、
ともに賛美と感謝の祈りを捧げた。



「献堂記念日は、一致が育ち、深まるよう祈る日でもある」と語るアベイヤ司教 左は大名町教会主任・杉原寛信神父

- 5月9日 世界広報の日 -
「来て、見なさい」（ヨハネ1・46）
人々と、彼らのいる場で、
そのままの彼らと会って、伝えなさい
第55回「世界広報の日」
教皇メッセージ全文は、
カトリック中央協議会
ホームページに掲載されています。
https://www.cbccj.catholic.jp/2021/03/23/22329/

お詫びと訂正・教区報4月号（751号）
1面：熊本地震から10年→熊本地震から5年
1面<ジョン師の略歴>：現福岡サン・スルピス大神学院
→現福岡カトリック神学院
掲載内容に誤りがございました。
ご迷惑、ご不快な思いをおかけいたしましたことを、
深くお詫び申し上げます。

鐘の鳴る闘う
「司教座聖堂」
大名町教会主任
杉原寛信神父
「福岡教区司教座聖堂」
「献堂記念日ミサ」
福岡司教区教区長として
初めて司式されたア
ベイヤ司教様が呼びか
けられた。
「カテドラルは一致
のしるし。その一致は
一人ひとりの、教区民
すべての、そして全世
界の教会とつながること。
キリストを信じ、

「カトリック信徒ではない
のですが、教会の近くに住ん
でおり、毎日の鐘の音に心慰
められ、励まされていたので、
『どうして？』という思いか
ら、お電話しました。明日の
夜、鐘が鳴るのを心待ちにし
ています。」
有名なシンガーソングライ
ター《中島みゆき》。彼女の
深夜放送ラジオ番組に送られ
てきた、中卒で上京した少女
からの手紙を元に書かれた曲
『ファイト』の一節。
「闘う君の唄を 闘わない
奴等が笑うだろう」
十字架のイエスを思う。御
父のもとからこの世界に「上
京」（この世界に受肉）し、
真に闘った者。
教会は闘っているか？鐘の
音だけでなく、キリストを響
かせているか？
エマオへの道
大名町教会信徒会長
浜崎公男

司教様がお座りになられる
椅子がある。教区民すべての
視線がそこに集まる。お声を
聴き、その思いを知り、主に
近づいていく。
歴代の司教様と共に歩んた
多くの会長、委員の方々も、
痛み、苦しみ、喜び、悲しみ
ながら、共同体の一致と宣教
への歩みのために全身全霊で
奉仕されたことでしょう。
教皇フランシスコ来日時
の王たるキリストの祭日のミサ
の説教が今も心に残る。無関
心と陰口が響く場、そして希
望の場、司教座がカルワリオ
と重なります。
9月には宣教司牧ビジョン
が発表されます。司教様の「一
緒に歩みたい」を情熱をもつ
て取り組み、あのエマオへ
の途上、弟子たちが、「私た
ちの心は燃えていたではない
か」と言ったように、コロナ
禍の中においてもイエスと共に
に歩む道 熱く、深く、一心
に進んでいきますように。

「カトリック信徒ではない
のですが、教会の近くに住ん
でおり、毎日の鐘の音に心慰
められ、励まされていたので、
『どうして？』という思いか
ら、お電話しました。明日の
夜、鐘が鳴るのを心待ちにし
ています。」
有名なシンガーソングライ
ター《中島みゆき》。彼女の
深夜放送ラジオ番組に送られ
てきた、中卒で上京した少女
からの手紙を元に書かれた曲
『ファイト』の一節。
「闘う君の唄を 闘わない
奴等が笑うだろう」
十字架のイエスを思う。御
父のもとからこの世界に「上
京」（この世界に受肉）し、
真に闘った者。
教会は闘っているか？鐘の
音だけでなく、キリストを響
かせているか？
エマオへの道
大名町教会信徒会長
浜崎公男

司教が聖香油ミサで香油を祝福・聖別した。ミサに
は教区内の司祭団と修道者、信徒約100人が参列し
た。司祭職制定の記念でもあるこのミサは司教と司祭
団の一致と教区共同体の一致を示すしるしである。
3月31日（水）、カテド
ラル大名町教会では聖香油ミサ
が行われた。ヨゼフ・アベイヤ
司教と宮原良治名譽司教と
司祭団約50人が共同司式し、
修道者、神学生、信徒約50
人が声を合わせ祈った。アベ
イヤ司教の「信仰の支えとな
る聖香油のミサで、司祭に召
し出されたことに感謝し、そ
の職務に忠実に生きるように
願いましよ」との導入の言
葉と、叙階記念60周年、50周
年を迎えた2人の司祭の紹介
があつてミサは始まった。
アベイヤ司教は説教で、聖
なる香油の働きを説明し、「司
祭はかつての預言者のよう
に、またすべての人のために

復活節第6主日は「世
界広報の日」。新聞、テレ
ビ、ラジオ、インターネット
トなどの広報媒体を用いて
行う宣教について、教会
全体で考
え、反省
し、祈り、
献金を捧
げる日と
されてい
ます。誰
もが簡単
にSNS
などで情
報の発信者となれるよう
なった今日、また、「全世
界に行つて、すべての造ら
れたものに福音を宣べ伝え
なさい」（マルコ16章15節）
との呼びかけを受けている

「教会内の文化が福音に満
たされ、信者一人ひとりが
宣教の働きに充実感」を感
じるための教区広報。社会
とつながり、共同体がとな
がる。それは最終的には
「道・真理・いのちである
イエス、慈しみの主への架
け橋」の奉仕に他ならない
と思います。
福岡教区では2019年
の教皇来日を機に教区の
ホームページがリニューアル
されました。また、コロ
ナの影響でユーチューブで
のライブ配信も増えまし
た。これらがこれからもつ
ながり、関わりを育む広報
活動となることを願ってい
ます。
笹丘教会 平尾千衣子

「教会内の文化が福音に満
たされ、信者一人ひとりが
宣教の働きに充実感」を感
じるための教区広報。社会
とつながり、共同体がとな
がる。それは最終的には
「道・真理・いのちである
イエス、慈しみの主への架
け橋」の奉仕に他ならない
と思います。
福岡教区では2019年
の教皇来日を機に教区の
ホームページがリニューアル
されました。また、コロ
ナの影響でユーチューブで
のライブ配信も増えまし
た。これらがこれからもつ
ながり、関わりを育む広報
活動となることを願ってい
ます。
笹丘教会 平尾千衣子

積雪を踏みしめながら薄暗
い中を仕事場へ急いだ。途中
の街灯が道を照らしてくれ
た。今度は仕事を終えて帰宅
に急ぐ。雪が舞っている。タ
クシー代はもつたないの
で、また歩く。途中の信号機
が休憩を促すが、どこにも寄
らないで歩く。だんだんと歩
きが鈍くなる。だが目的地
指してひたすら歩く。葉々
からトポトポに変わってき
た。近道らしき所も通ってき
た。半分くらいから薄暗くな
り、家近くでは真つ暗になっ
た。やはり、舞う雪を照らし
出す街灯が道を教えてくれ
た。やつの思いでたどり着
いた。所要時間は2時間40
分。長い道中だった▼目的地
にたどり着くことを信じて歩
いていくことに人生を重ね合
わせてみた。人はこの世に生
まれ落ち、死ぬまで生き続け
る。途中で多くを学び、経験
しながら歩んで行く。幸いに
して、人生の目的地を教えて
もらい、心に秘めてまっしぐ
らに進んでいく。だが、他の
道に引張つていく悪者も現
れる。しかし、悪者と手を
切つて元の道に戻り歩みを続
ける。目的地で待っている御
方に思いを馳せ、トポトポで
も歩く。近道を教えてくれる
御方が温まる恵みを届けてく
れる。やつの思いで目的地
に着いた時には、家主の御方
と兄弟姉妹のお出迎え。喜び
一杯、幸せ一杯。宴会が終り
無く続く▼「天国」という目
的地を心に秘め、途中で歩み
を支え、助けてくれる「秘跡」
をいただき、「道・真理、命」
である主イエスの教えの道を
ひたすらに歩み、ついには天
国の家主である神に会い、聖
母マリアと諸聖人と手を取り
合つて喜ぶのである。(S)

カテドラル大名町教会、
4月3日（土）。人数制限の
敷かれた大聖堂に、歌声はな
し。神の救いの歴史を辿るみ
言葉の朗読も3箇所だけと
徹底したコロナ感染症拡大防
止対策の中、ヨゼフ・アベイヤ
司教主司式の下に復活徹夜
祭のミサが執り行われた。
着座当初から「共に歩みた
い」と気持ちを伝える司教
は、説教の初めに「アレル
ヤ」くらいは歌いたかったで

「教会内の文化が福音に満
たされ、信者一人ひとりが
宣教の働きに充実感」を感
じるための教区広報。社会
とつながり、共同体がとな
がる。それは最終的には
「道・真理・いのちである
イエス、慈しみの主への架
け橋」の奉仕に他ならない
と思います。
福岡教区では2019年
の教皇来日を機に教区の
ホームページがリニューアル
されました。また、コロ
ナの影響でユーチューブで
のライブ配信も増えまし
た。これらがこれからもつ
ながり、関わりを育む広報
活動となることを願ってい
ます。
笹丘教会 平尾千衣子

積雪を踏みしめながら薄暗
い中を仕事場へ急いだ。途中
の街灯が道を照らしてくれ
た。今度は仕事を終えて帰宅
に急ぐ。雪が舞っている。タ
クシー代はもつたないの
で、また歩く。途中の信号機
が休憩を促すが、どこにも寄
らないで歩く。だんだんと歩
きが鈍くなる。だが目的地
指してひたすら歩く。葉々
からトポトポに変わってき
た。近道らしき所も通ってき
た。半分くらいから薄暗くな
り、家近くでは真つ暗になっ
た。やはり、舞う雪を照らし
出す街灯が道を教えてくれ
た。やつの思いでたどり着
いた。所要時間は2時間40
分。長い道中だった▼目的地
にたどり着くことを信じて歩
いていくことに人生を重ね合
わせてみた。人はこの世に生
まれ落ち、死ぬまで生き続け
る。途中で多くを学び、経験
しながら歩んで行く。幸いに
して、人生の目的地を教えて
もらい、心に秘めてまっしぐ
らに進んでいく。だが、他の
道に引張つていく悪者も現
れる。しかし、悪者と手を
切つて元の道に戻り歩みを続
ける。目的地で待っている御
方に思いを馳せ、トポトポで
も歩く。近道を教えてくれる
御方が温まる恵みを届けてく
れる。やつの思いで目的地
に着いた時には、家主の御方
と兄弟姉妹のお出迎え。喜び
一杯、幸せ一杯。宴会が終り
無く続く▼「天国」という目
的地を心に秘め、途中で歩み
を支え、助けてくれる「秘跡」
をいただき、「道・真理、命」
である主イエスの教えの道を
ひたすらに歩み、ついには天
国の家主である神に会い、聖
母マリアと諸聖人と手を取り
合つて喜ぶのである。(S)

カテドラル大名町教会、
4月3日（土）。人数制限の
敷かれた大聖堂に、歌声はな
し。神の救いの歴史を辿るみ
言葉の朗読も3箇所だけと
徹底したコロナ感染症拡大防
止対策の中、ヨゼフ・アベイヤ
司教主司式の下に復活徹夜
祭のミサが執り行われた。
着座当初から「共に歩みた
い」と気持ちを伝える司教
は、説教の初めに「アレル
ヤ」くらいは歌いたかったで

積雪を踏みしめながら薄暗
い中を仕事場へ急いだ。途中
の街灯が道を照らしてくれ
た。今度は仕事を終えて帰宅
に急ぐ。雪が舞っている。タ
クシー代はもつたないの
で、また歩く。途中の信号機
が休憩を促すが、どこにも寄
らないで歩く。だんだんと歩
きが鈍くなる。だが目的地
指してひたすら歩く。葉々
からトポトポに変わってき
た。近道らしき所も通ってき
た。半分くらいから薄暗くな
り、家近くでは真つ暗になっ
た。やはり、舞う雪を照らし
出す街灯が道を教えてくれ
た。やつの思いでたどり着
いた。所要時間は2時間40
分。長い道中だった▼目的地
にたどり着くことを信じて歩
いていくことに人生を重ね合
わせてみた。人はこの世に生
まれ落ち、死ぬまで生き続け
る。途中で多くを学び、経験
しながら歩んで行く。幸いに
して、人生の目的地を教えて
もらい、心に秘めてまっしぐ
らに進んでいく。だが、他の
道に引張つていく悪者も現
れる。しかし、悪者と手を
切つて元の道に戻り歩みを続
ける。目的地で待っている御
方に思いを馳せ、トポトポで
も歩く。近道を教えてくれる
御方が温まる恵みを届けてく
れる。やつの思いで目的地
に着いた時には、家主の御方
と兄弟姉妹のお出迎え。喜び
一杯、幸せ一杯。宴会が終り
無く続く▼「天国」という目
的地を心に秘め、途中で歩み
を支え、助けてくれる「秘跡」
をいただき、「道・真理、命」
である主イエスの教えの道を
ひたすらに歩み、ついには天
国の家主である神に会い、聖
母マリアと諸聖人と手を取り
合つて喜ぶのである。(S)

積雪を踏みしめながら薄暗
い中を仕事場へ急いだ。途中
の街灯が道を照らしてくれ
た。今度は仕事を終えて帰宅
に急ぐ。雪が舞っている。タ
クシー代はもつたないの
で、また歩く。途中の信号機
が休憩を促すが、どこにも寄
らないで歩く。だんだんと歩
きが鈍くなる。だが目的地
指してひたすら歩く。葉々
からトポトポに変わってき
た。近道らしき所も通ってき
た。半分くらいから薄暗くな
り、家近くでは真つ暗になっ
た。やはり、舞う雪を照らし
出す街灯が道を教えてくれ
た。やつの思いでたどり着
いた。所要時間は2時間40
分。長い道中だった▼目的地
にたどり着くことを信じて歩
いていくことに人生を重ね合
わせてみた。人はこの世に生
まれ落ち、死ぬまで生き続け
る。途中で多くを学び、経験
しながら歩んで行く。幸いに
して、人生の目的地を教えて
もらい、心に秘めてまっしぐ
らに進んでいく。だが、他の
道に引張つていく悪者も現
れる。しかし、悪者と手を
切つて元の道に戻り歩みを続
ける。目的地で待っている御
方に思いを馳せ、トポトポで
も歩く。近道を教えてくれる
御方が温まる恵みを届けてく
れる。やつの思いで目的地
に着いた時には、家主の御方
と兄弟姉妹のお出迎え。喜び
一杯、幸せ一杯。宴会が終り
無く続く▼「天国」という目
的地を心に秘め、途中で歩み
を支え、助けてくれる「秘跡」
をいただき、「道・真理、命」
である主イエスの教えの道を
ひたすらに歩み、ついには天
国の家主である神に会い、聖
母マリアと諸聖人と手を取り
合つて喜ぶのである。(S)

積雪を踏みしめながら薄暗
い中を仕事場へ急いだ。途中
の街灯が道を照らしてくれ
た。今度は仕事を終えて帰宅
に急ぐ。雪が舞っている。タ
クシー代はもつたないの
で、また歩く。途中の信号機
が休憩を促すが、どこにも寄
らないで歩く。だんだんと歩
きが鈍くなる。だが目的地
指してひたすら歩く。葉々
からトポトポに変わってき
た。近道らしき所も通ってき
た。半分くらいから薄暗くな
り、家近くでは真つ暗になっ
た。やはり、舞う雪を照らし
出す街灯が道を教えてくれ
た。やつの思いでたどり着
いた。所要時間は2時間40
分。長い道中だった▼目的地
にたどり着くことを信じて歩
いていくことに人生を重ね合
わせてみた。人はこの世に生
まれ落ち、死ぬまで生き続け
る。途中で多くを学び、経験
しながら歩んで行く。幸いに
して、人生の目的地を教えて
もらい、心に秘めてまっしぐ
らに進んでいく。だが、他の
道に引張つていく悪者も現
れる。しかし、悪者と手を
切つて元の道に戻り歩みを続
ける。目的地で待っている御
方に思いを馳せ、トポトポで
も歩く。近道を教えてくれる
御方が温まる恵みを届けてく
れる。やつの思いで目的地
に着いた時には、家主の御方
と兄弟姉妹のお出迎え。喜び
一杯、幸せ一杯。宴会が終り
無く続く▼「天国」という目
的地を心に秘め、途中で歩み
を支え、助けてくれる「秘跡」
をいただき、「道・真理、命」
である主イエスの教えの道を
ひたすらに歩み、ついには天
国の家主である神に会い、聖
母マリアと諸聖人と手を取り
合つて喜ぶのである。(S)

アベイヤ司教 教区内司牧訪問

1年を明け、教区内の全小教区を訪問する予定は、コロナ禍の緊急事態宣言で中断を余儀なくされながらも半分を過ぎた。今回は筑後地区、福岡地区の4教区を訪問したが、聖週間、復活節とも重なり喜びもひとしおの報告が届けられた。

大牟田教会

アベイヤ司教は福岡教区長になって初めて迎える聖週間の始めに当たる受難の主日の3月28日(日)、筑後地区の大牟田教会を訪問した。感染症対策のため、日曜日のミサを2回に分けて行っているところを、司教訪問のために1回に減らし、そして何より、昨年は公開ミサ中止のために聖週間のミサに与れなかったこともあり、当日は雨にもかかわらず、ソーシャルディスタンスをした聖堂の座席からあふれるほど信者が集まった。そこには日本だけでなく、韓国、フィリピン、ベトナム、イギリス、イタリア、メキシコと、たくさんの国籍の人が集まり、さながら祭りのために各地からエルサレムに集まった人々がイエスを迎えたような光景だった。

ミサの始めの枝の行列は感染症予防の通達の通り行わず、祭壇前での祝福と福音朗読のみとなったが、司教は、今年こそ共に聖週間の祭儀に参加できるので、大切に、イエスの生涯の頂点を思いながら過ごそうと呼びかけた。

糸島教会

4月4日(日)復活の主日、アベイヤ司教式によるミサ

が、9時と11時の2回に分けて行なわれた。いずれも60数人の参加者で、2年ぶりの復活祭の主日ミサ。しかも司教式であったこともあり、信徒の顔は晴れやかで喜びに輝いていた。

司教は説教で「イエス・キリストの復活を信じる者は、愛が憎しみよりも強いものであること、平和が分裂や暴力よりも神の心になうものであること、命は誰にも何にも天の父の御手から奪われることがないことを信じる者です」と力強く語った。

ミサ後は懇談会が開かれ、全員が司教のユーモアあふれる話に熱心に聴き入っていた。福岡教区創立百周年に向け教区が最も大事にしたいことを今皆で考えており、皆さんの知恵を貸して欲しい。コロナ禍でも、自分たちにできることをやって欲しいと、福音宣教への思いを述べた。



ユーモアに溢れる懇談会の司教

光丘教会

「神のいつくしみの主日」の4月11日(日)、アベイヤ司教が光丘教会を司牧訪問され、ミサ説教で「神のいつくしみこそが福音の中心。愛といつくしみの霊に素直に導かれて生きる恵みを願います」と穏やかに説かれた。

十時仲治主任司教が着任したこの日は、隣接する福音の光修道会福岡修道院(3月末

最後に「私は毎年小教区を訪ねます」と語り、牧者として一人も見捨てないという司教の熱い思いを心に深く刻んだ司牧訪問であった。

(報告 山崎昌典)



アベイヤ司教と光丘教会の信徒

(報告 生野秀樹)

ミサ後の交流会では「教会のあらゆる場で高齢化が叫ばれているが、情熱に年齢制限はない」と力強く述べ、信徒を「自分にできるやり方で福音宣教」に誘っていた。

で閉鎖)のシスター方との別の日でもあった。司教は「生き方そのもので福音を証しする奉獻生活者は教会の宝物。同修道会が運営してきた幼稚園と保育園を、地域社会とのつながりの場として大事にしていきたい」とシスター方をねぎらった。

老司教会

4月18日(日)、アベイヤ司教は老司教会に9時前に到着し、お聖堂の前で信徒約30人程をお迎えした。

この日は司教を迎えるのに最高の晴天に恵まれ、ミサに与った信徒も普段より多く80人位になった。

司教はミサの中で「愛の神秘」や「神との関わり」など、信徒にとって有意義な説教を語り、信徒は皆、熱心に聞き入っていた。

ミサ後の親睦を兼ねた分かち合いでは、司教から説教を兼ねた講話を聴き、その後質疑応答が行われた。3人からの質問に、司教は丁寧に解り易く答え、物事への関わり方についての大切さ、特に、神との関わり、人との関わり、社会との関わり方について熱く語った。



アベイヤ司教と記念の集合写真!

(報告 村上敏治)

め、老司教会管理者である大山悟神父(サン・スルピス司祭会)や、福岡カトリック神学院の湯浅俊治神父(同サン・スルピス司祭会)・吉原祐則神学生らと共に、信徒3人を加えて簡単な食事を取りながら懇談会を行い、老司教会のこれからの働きのために、意見を交換し合う良いときを持つことができた。

私には昔からの心からの友達が何人かいます。住む所が違ってお互いの通信で友好関係を守っています。その一人、40歳の男性、5人の子どもの父親が最近、「教皇フランシスコの『父のところで』での聖ヨセフにうっとりとした。それは読んでから今、男として父として自分をよりよく分かるようになった」とメールで打ち明けました。その内省を少しでも、皆さんと分かち合いたいと思います。

「聖ヨセフの姿を見る度に、男性が神との親密な関係を選ぶと、神はその人に適当な役目をくださると私は感じるようになりました。その態度には感心します。『聖家族に対して彼が有していた法的権限を行使することで、彼は自分自身、自分の人生、自分の仕事を与え尽くした。家族を愛するという自身の人間的召命を、その身と心とあらゆる能力を尽くした超人的ささげものとし、愛の奉仕へと変えたのです』という教皇の書簡からの言葉が私の心に深く刻まれました。」

聖ヨセフはいつも家族と一緒にいたのです。理解しがたいことがあっても、難しいことにぶつかっても、危険を体験しても彼は逃げませんでした。愛する方々と一緒にいつもいました。その「いること」を強調したいのです。この「いること」は現代の父親である私たちにとって家庭生活への「鍵」であると思うからです。家には父親が体だけでなく、心もいるべきです。

今の困難は多くの人、特に男性の方に大きな影響があります。経済的、社会的、精神的、宗教的などの限界はあらゆる誘惑を生じさせます。受けた地位から逃げ、妻も子どもも、家族も友人も捨てるという誘惑です。そして、心の無感覚、仕事の中毒、ポルノグラフィ、麻薬、虐待、バーチャルの世界などに避難所を見つけ、度々自死で現実から自由になろうとする誘惑です。聖ヨセフはこのようなことは無かったです。私も聖ヨセフと同じように終わりまで忠実を守るようにしたいと心から願っています。

『父のところで』を書くとき、教皇フランシスコはきっと、現代の父親、若い父親の方にも心をかけていたことでしょう。ある意味で聖ヨセフの立場にある私たち、父性を心配する男性たちに霊的にも励ましを与えてくれたと思います。世のお父さん、教皇フランシスコの『父のところで』を是非読んでください!

【男性と父親の模範聖ヨセフ】

D・アルビン神父 (馬渡島教会・呼子教会)



ヨセフ年

2020年12月8日~2021年12月8日

西新カトリック幼稚園(園長 中村彰神父)は1956年に創立され65年の長きにわたって地域の皆様に支えられてきました。その中で園舎と擁壁の老朽化が進み、園舎新築、擁壁改修が待たれていました。また、教会信徒も高齢化が進み、坂道と階段だけだったのでエレベーターの新設が望まれていました。今回、幼稚園舎新築と教会のエレベーター、ルルド、信徒会館増築工事を一緒に進めました。コロナ禍で工事の進捗が心配されましたが、無事に3月末に完成しました。4月10日(土)に新園舎祝式・落成式をアベイヤ司教を迎えて行うことが出来ました。式には設計、工事関係者、歴代の教職員・保護者会役員、現在の教職員・保護者会役員、の参列を頂きました。

西新幼稚園 新園舎祝式・落成式

祝別式の説教でアベイヤ司教は「イエスが序列争いをする使徒たちの真ん中に子どもを立たせたのは、小さい者を中心に大切にすることを神様の望まれる共同体だということをお教えるためです」と説かれました。

落成式では設計、施行業者に司教より感謝状が渡されました。教会の方の祝別式は5月2日(日)の司教の公式訪問ミサの中で行う予定です。幼稚園、教会ともに喜びと感謝のうちに新しい歩みを始めたいです。



新しい園舎を祝別するアベイヤ司教と園長の中村彰神父

武雄幼稚園 閉園のご挨拶

武雄カトリック幼稚園(園長 十時仲治神父)は、1960年ミラノ会や福岡教区の支援による設立以来、佐賀県武雄市と近隣のお子様方を預かり、カトリックの精神による「愛と祈り」に基づいた教育を行ってまいりました。残念ながら、近年の少子化や共働きの世帯の保育園等の利用により、園児の減少が続き、閉園の決断となりました。令和2年度の卒園式、修了式を終え、11人の園児を送り出し、ここに61年の幕を閉じることにいたしましたことをご報告いたします。

引き続き、園児の教育にご尽力くださいました教職員の皆様と、教職員を信頼してお子様をお預けくださいました保護者の皆様に感謝申し上げます。これまで幼稚園を卒園されたお子様方の上に神様の



カトリック武雄幼稚園

福岡教区人事異動 (一)内は前任地

〔2021年4月11日付〕

◆岩下和樹師(長崎教区司祭・大崎教会) 茶山主任
なお、福岡カトリック神学院で教義神学を講じます

計報

レティツァ

入江 富美子 修道女 (聖心のウルスラ宣教女修道会) 2021年3月24日帰天。享年92。修道生活60年でした。

カトリック古賀教会 納骨堂のご案内

カトリック古賀教会内に3年前に建設された、比較的新しい納骨堂です。年に1度、主任司教による慰霊祭も執り行われております。取得費用は、下記の通りとなります。1区画 ¥300,000(別途、管理料等がかかります) 詳しい資料、見学等のお問い合わせは、下記までお願いいたします。カトリック古賀教会 住所:福岡県古賀市花見東2丁目23-1 電話:092-942-2171



ボランティアグループ SECO の会

【活動内容】 フィリピンの貧しい「母と子のセンター」援助
【活動日時】 毎週水曜日 10時30分~16時
【問合せ先】 聖心のウルスラ宣教女修道会 Sr. 蔵 ☎ 092-512-0033 永田 ☎ 090-7927-3636

別れ・出逢い・旅立ち 草苑

カトリックのご葬儀 互助会制度もご利用できます。 木下株式会社 TEL 092-526-5656 〒810-0016 福岡市中央区平和3丁目1-5

第58回世界召命祈願の日 神を自分の人生の「夢」のすべてに

教皇パウロ六世は1964年、復活節第4主日を「世界召命祈願の日」に制定した。以来この日には教皇メッセージが届けられる。

今年4月25日のこの日、教皇フランシスコは私たちの召命にとって鍵となる「夢」「奉仕」「忠実」の三つの言葉について、聖ヨセフの生き方を通して語りかけた。

司祭の召し出しのために日々祈っている皆様。召命は自分には関係ないと思っている皆様。そもそも「召命って何？」と思つた皆様。今一度召命について黙想し、身近な方々と分かち合ってみませんか。

司祭・修道者の召命

ヨゼフ・アベイヤ司教

「考えたことがない」と。司祭、修道者になることを考えたことがありませんか？」と質問した私への一人の青年の答えでした。「召し出しのために教会で皆と一緒に祈ったことはありますが、まさか私が、司祭、修道者になるなんて」とあの青年が付け加えたのです。「このように考える人がほとんどだろうな」と私はその時思いました。

考えてみると、聖書で伝えられている召し出しの語に似ていると思えました。羊の群れの番をしていたモーセ、一晩頭張つても魚一匹も釣れなかったペトロ、自分の将来のことを考えていたマリア、徴税所に座っていたマタイは、そうだったと思います。「まさか私が」。瞬間的な出来事として伝えられている「呼びかけ」。「応え」ですが、時間をかけて考えられたらどうでしょうか。人生を方向付けることだからです。ただ、あの「呼びかけ」に耳を傾けて、考えたのです。最終的にモーセ、ペトロ、マリア、マタイは、あの呼びかけに応え、充実した人生を送つただけではなく、多くの人々にとって彼

らの人生は大きな賜物となりました。

司祭としての生き方は、美しいものです。神様にすべてを捧げ、その恵みに支えられて、派遣されたところで人々と共に歩みながら、福音がもたらす心の平安、また、神様の愛に触れる喜びを分かち合う。そして、福音の示す「共に生きる」道、誰も置き去りにされない社会の教えを心に留め、それらを証しし、実現していくことを自分の人生の最高で唯一の目的とする生き方です。司祭はイエスに従って、イエスのように人々の歩みを支える「裂かれたパン」となり、また、イエスがなさったように、「人々の足を洗う」者となる。教会の兄弟姉妹に奉仕し、教会がイエスに与えられた使命を果たすように兄弟姉妹を支える生き方は、美しいものです。これが可能なのは、キリストとしっかりと結びあっているからです。イエス様と共に、また、イエス様を中心に集う共同体と共に歩むことは素晴らしいことです。

しかし、「まさか私が」と考える。有意義な人生を送りたい若いキリスト者は、この道を進むように呼ばれているかどうか考えてみる必要があると思います。神様は呼び続けておられます。耳を傾ける人はいないでしょうか。

「世界召命祈願の日」

神は、すべての人が誠実に自分の生涯を過ごすように招いています。ある人は社会の中で会社員、医師、看護師、教員、工場働く人として、また夫、妻、父、母としてよい家庭を築くように、そして、ある人は神とともに招かれています。神の招きはこのように人それぞれ異なりますが、自分に対する神の望みを祈りつつ探していくことが大切です。近年、司祭や修道者の減少、高齢化が進んでいます。とくに「召命祈願の日」には、司祭、修道者への招き（召命）に一人でも多くの方がこたえることができるように祈りましょう。

〔カトリック教会情報ハンドブック2021〕
カトリック中央協議会発行
尚、教皇メッセージ「聖ヨセフ・召命の夢」は、カトリック中央協議会ホームページ <https://www.cbcj.catholic.jp/2021/04/16/22396/> でご覧になれます。

一人ひとりが与えられた召命に答えるように

召命減少への対応の一環として、「神が多くの若者に司祭と修道者の召命を与えてくたさいませう」というような意向に沿ったミサと祈りの会を行うことはよくあります。司祭と修道者の召命をいただくために、例えば、24時間、リレーのような形で絶え間なく召命を祈り求めることは一つの方法かもしれません。しかし、その場合、召命をいただくことが祈りの「量」の問題に限定されることが気になります。これぐらい祈つたら、このぐらいの召命の数を与えられるという道理になるからです。このような駆け引きの祈願と限定された召命の理解にならないようにするには、どうすればいいのでしょうか。

まず、キリスト者として私たちに、根本的で共通の召命があります。それは洗礼によつていただいた信仰の恵みに応えることです。つまり、神からいただいた召命を開花させることです。一人ひとりはその信仰を「自分らしき」を通して満開まで成長させていくのです。「自分らしき」というのは、生き方によつて与えられた信仰に「自分の色と味」をつけ、共通召命が具

体的な形になることによつて生まれる、固有の召命のことです。信仰という贈り物を人生における中心の価値観にして、それに基づいて生き、それによつて自分にしかできない信仰の実現の仕方を育てて、自分にしかできない証しのあり方を見つけているのです。教皇フランシスコは使徒的勸告『喜びに喜べ』に次のように書いています。「大切なのは、各信者が自分自身の道を識別し、神が自分に用意してくださった自分だけのもの、その自分のよさを發揮すること(11)」「それぞれが置かれている場で、日常の雑務を通して、愛をもって生き、自分に固有のあかしを示すことで聖なる者となるよう、私たち皆が呼ばれているのです。(14)」

司祭として生きようとしている私に、同じ洗礼に込め、結婚生活を通して今年で55周年にたどり着いた親がいて、重度障がいのある幼児のために人生を尽くしている自身の幼なじみもいます。結婚した親も自身の友人も洗礼から来る召命に固有の形を通して献身的に込め、立派にそれを実現しています。世界召命祈願の日を、すべてのキリスト者が神からの一人ひとりへの呼びかけに耳を傾け、応えるように、互いに応援をおくり合ひ、祈り合う日にしたいものです。

日々の生活は、日本語学校に行き、その後はアルバイトをしています。

一方、技能実習生は日本企業に就職。契約社員として約3年5年働きます。留学生と違い、仕事は安定しており、日本に来て技術を学び、お互いに両国に貢献します。

しかし、今は新型コロナウイルス感染症のため仕事が無く、契約満期になっても帰国する事も出来ず、毎日どうやって過ごすか、日々不安しか無い状況です。教会や、友人、日本の方々と交流など会う事も禁止され、分かつていても、どうする事も出来ない現実には苦悩の日々です。

1日でも早くこの事態が収まり、また日本の方々と一緒に祈りや、分かち合いをする時を楽しみにしています。

数年間、美野島司牧センターの中で、排除され、放棄され、社会から疎外された人々に新しい希望を与えたいと目を留めています。(中略) 教皇はあなたの使命においてあなたを励まし、あなたのために祈り、あなたの奉仕を受け取る人々に、主の愛を絶えず染み込ませている証人を提供し続けるように望んでいます。あなたの四旬節の満ちある時間を、そしてあなたの兄弟、美野島司牧センターのコミュニティ全体に教皇は、聖母マリアの執り成しを祈ります。そして、あなたに心からの祝福を与え、あなたと共に善意を持って働くすべての人々の上にも祝福を与えまう」とあった。

手紙を受け取ったコース神父は、美野島司牧センターで働く多くの人々とこの喜びを分かち合い、一同は今後の活動へのさらなる献身と意欲を新たにした。

ここに収められた文章は、昨年、緊急事態宣言が出された最も緊張が高かったころに書かれたものである。強きこそ力と過信していた私たちがコロナウイルスは打ち砕いた。『弱い人』とは助けられるだけの人ではなく、社会の底に横たわる『いのち』の尊厳という根本問題を照らし出す者としても存在している」と著者は語る。

著者はユダヤ教のラビで、聖書学者でもある。「なぜ私だけが苦しむのか」はベストセラーとなり、日本語にも翻訳された。内容はタイトル通り、有名な詩編23編の解説だが、学問的な積義のようなものではなく、コロナ禍にあつて、苦しみや悲しみに向き合わざるを得ない現代人に癒しと希望を与える名著。

サンパウロ社発行
税込価格 1705円

☆主はわれらの牧者
ハロルド・S・クシュナー
(著) 松宮克昌(訳)

主はわれらの牧者
現代人の心を癒す詩編23編のラビの言葉
著者：ハロルド・S・クシュナー
訳者：松宮克昌

税込価格 1430円

弱さのちから
若松英輔 著

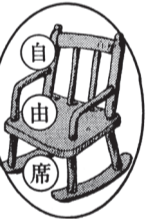
ここに収められた文章は、昨年、緊急事態宣言が出された最も緊張が高かったころに書かれたものである。強きこそ力と過信していた私たちがコロナウイルスは打ち砕いた。『弱い人』とは助けられるだけの人ではなく、社会の底に横たわる『いのち』の尊厳という根本問題を照らし出す者としても存在している」と著者は語る。

税込価格 1430円

大名町教会 竹原 実

日本に来たばかりの時は何処に教会があるのか分からず、家でお祈りをして過ごしていました。そして近所に教会がある事を知ると、言葉も分からないが、勇気を出し教会に出向きイエス様に祈りを捧げました。日本と、ベトナムの文化には大きな違いもあり、例えば日本ではミサの時に手を合わせますが、私達の文化は腕を組むのです。

ベトナム人の留学生は、年に4期あり(1月、4月、7月、10月) 日本に入国します。



不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

(株) ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
<http://www.iruka-japan.com/>

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市天神山 7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表: エリザベト熊谷

総合建築業

- 一般住宅(新築・改築工事)
- 鉄骨工事
- RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 **森山工務店**

ヨゼフ 森山 新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い

セント・ポール FUKUOKA

キリスト教書籍・信信用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名 2-7-7 大名町カトリック教会 1F
平日/AM10時30分~PM3時
日曜/AM11時~PM2時(定休日 水曜・祝日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL: <http://www.pauline.or.jp>

年間目標

ともに歩み 支えあっていく共同体

2021年度

福岡教区神学院生・コレジオ生紹介

【福岡カトリック神学院】

◆イグナチオ 吉浦 勲 (伊万里)



福岡カトリック神学院神学科1年、伊万里教会出身の吉浦勲です。これからは神様と皆様に支えられながら、与えられた召命を精一杯歩んで参りたいと思います。

【カトリック長崎教会管区司祭志願院福岡コレジオ】

◆アシジのフランシスコ 萩原篤志 (今村)



福岡コレジオ4年、今村教会出身の萩原篤志です。召命の歩みの中で沢山のことを悩み、考え、感じ取りながら、その先を見据えて精進できればと思います。

【長崎カトリック神学院】(小神学校)

◆ヨハネ 鈴木涼太郎 (今村) 高校3年

彼らが神様からの強く温かい光に導かれ、豊かな歩みが続けることができるよう、皆様のお祈りをお願いいたします。

福岡教区広報室アドレス

http://fukuoka.catholic.jp

E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案内板

会合と催し

5月のこよみ

「福岡教区ハンドブック2021」が発行されます。

大変お待たせをいたしました。ハンドブック2021は現在順次発送中です。各小教区でお受け取りの上、ご活用ください。またPDFによる配布も行っております。詳細は各小教区に配布のお知らせをご覧ください。

ヨゼフ・アベイヤ司教 復活の主日の音声説教/聖香油ミサ・説教文

福岡教区ホームページでご視聴・ご覧になれます。 http://fukuoka.catholic.jp/

真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ: 祈りの実り: イエス様と共に、イエス様のように生きること
日時: 5月13日(木) 10時~15時
内容: 給仕するイエス様に学ぶ(ルカ22:27)
指導者: S. フランコ神父(聖ザベリオ宣教会)
問い合わせ先: 真命山諸宗教対話センター
次回: 6月10日(木)
「私があなたがたを愛したように...互いに愛し合いなさい」(ヨハネ14:34)
☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町蜻浦1391-7・E-mail shinmeizan@gmail.com
☆個人またはグループでの懇話会、研修会も歓迎いたします(要予約)

- 2日(日) 復活節第5主日 西新教会司牧訪問
3日(月) 聖フィリポ・聖ヤコブ使徒
6日(木) †E. デイキン(2005年 人吉教会)
7日(金) †トマス須賀澤公男(2016年)
†T. キルケニー(2018年)
9日(日) 復活節第6主日 世界広報の日(献金)
高宮教会司牧訪問
13日(木) 常任司教委員会
†R. ハー(2013年 古賀・光丘教会)
聖マチア使徒 †J. フィネティ(2001年 美野島)
14日(金) †G. ケルクマン(2018年 泰星学園)
15日(土) 主の昇天(復活節第7週) 箱崎教会司牧訪問
†ミカエル中浜一男(2005年浄水通教会・事務局長)
21日(金) †J. マカティ(2019年 笹丘教会)
23日(日) 聖霊降臨の主日 笹丘教会司牧訪問
教会の母聖マリア(年間第8週)
24日(月) †L. グロージャン(2006年 八王子)
25日(火) 聖フィリポ・ネリ司祭
26日(水) 三位一体の主日(年間第9週)
30日(日) 聖母の訪問
31日(月) 聖母の訪問
【6月】
1日(火) 聖ユスチノ殉教者
2日(水) †ヨセフ松永久次郎司教(2006年)
3日(木) 聖カロロ・ルワンガと同志殉教者
†V. マテオ(2002年)
6日(日) キリストの聖体(年間第10週) 戸畑教会司牧訪問
■ゴシックは司教日程

- 5月9日 世界広報の日(献金)
5月16日 主の昇天
5月23日 聖霊降臨の主日
5月30日 三位一体の主日

福岡

集いの案内について

掲載依頼のあった集いのみ、掲載しております。感染症の状況によっては開催が中止となる場合もあります。

- セコの会 セコの会では、手芸などを制作し、バザー等で販売してその収益でフィリピンの貧しい人々を支援しています。当会では作品作りに参加して下さるボランティアを募集しています。【日時】5月より毎週水曜日10時30分~16時(場所)福岡市南区塩原4丁目25 高木橋横の日本家屋(問合せ先) ☎090・7927・3636 永田
震災のための祈りのリレー【日時】5月11日(火)ミサ7時から夕の祈り(テゼの祈り)17時から(場所)カトリック西新教会(問合せ先) ☎070・2820・9613 Br. 阿部(パウロ会)
師イエス祈り会【日時】5月14日(金) 10時~16時(場所)高宮教会・小聖堂(問合せ先) ☎090・7468・3631 西田
福岡召命を共に祈る会【日時】5月18日(火) 13時半から(場所)大名町教会・小聖堂(内容)初ミサ(司式・大名町教会助任ジョン・ウォンチヨル神父) (問合せ先) ☎092・921・4532 山口
福岡チエナクルム(マリアの司祭運動)【日時】5月19日(水) 10時ミサ・聖体賛美式(場所)大楠教会(指導)パウロ神父(カプチン・フランシスコ修道会) (問合せ先) ☎090・5021・5907 菊池
福岡ホスピスの会「がんを通して人生を語る会」第30回「がん哲学外来」めぐみカフェ【日時】5月22日(土) 14時~16時30分(場所)サンパウロ福岡宣教センター3階(参加費)一般500円(茶菓子代) ※当事者・家族・友人・その他どなたでも参加可(問合せ先) ☎090・1162・6395 柴田
『キリストは生きている』青年オンライン分かち合い【日時】5月23日(日) 15時~16時40分(場所)Zoom(イ

- ンターネット上のテレビ会議(内容)『キリストは生きている』第4章(対象)18歳~30代の青年(問合せ先) 安藤 maris.stella@me.com
美野島司牧センター 降りてきて下さる神様とともに働きましょう。
ホームレスの方に手作りのお昼ごはん 毎週火曜日10時
ホームレス支援炊出し・夜回り 第1・3金曜日 調理14時 夜回り20時から
路上からアパートに入居した方を訪問 第3土曜日14時(問合せ先) ☎092・431・1419 コース・マルセル神父
福岡家族支援実行委員会 「きんしゃいサロン・手芸の会」 ※コロナ福岡独自対策の為、5月の活動は休止します(問合せ先) ☎070・2333・1210(平野)
北九州召命を共に祈る会【日時】5月13日(木) 14時~(場所)小倉教会(内容)ミサ(司式・大塚了平神父) (問合せ先) ☎0949・24・9

- 熊本地区召命を共に祈る会【日時】5月13日(木) 10時~(場所)手取教会(内容)ロザリオ、ミサと話し合い(問合せ先) ☎096・339・1910 武蔵ヶ丘教会 キム・ジョンゴン神父
熊本
編集後記
司教館・広報室に通い始めて早5ヶ月。まだまだ不安な日々ですが、多くの方に助けられ、慰められ、励まされています。その中に植物たちもいます。司教館には沢山の草木花があります。通い始めた頃は水仙。柚子やレモン、晩白柚。玄関先の梅の花は、今たくさん実をつけています。桜にハナミズキ、最近はずつじが綺麗です。他にも名前を知らない小さな花から大きな花まで。特別誰か手入れをする必要もなく、でもどれも咲き誇っています。力と勇気を貰っています。「♪こんなに小さなのにちのでさえ、こころをかける父がいる。」(W)

姉妹たちの新たなる旅立ち 福岡教区内3女子修道院閉院

2020年度、福岡教区にある3つの修道院が閉院した。教区報1月号でお知らせした通り「けがれなき聖母の騎士聖フランシスコ修道女会・被昇天の聖母修道院(唐津市鎮西町馬渡島)」は、運営する児童養護施設の閉園に伴い、修道院もその歴史に幕を閉じた。教区報3月号では、福岡の地で72年間書院『セントポール FUKUOKA』で親しまれた「聖パウロ女子修道院」の閉院挨拶を掲載。書院はカトリック大名町教会で引き続き開かれているが、シスター方はそれぞれの場に派遣されていった。そして今また一つ、福音の光修道院が閉院となる。シスター方は光丘教会の教会学校にも長きにわたり関わられ、信徒からは「いつかこの日が来ると思っていたが、現実となった今、皆寂しく受け入れたい気持ちだ」との悲しみの声が聞かれた。5月号では、その福音の光修道会からの言葉をお届けする。



笑顔で挨拶をするシスター方
教会法による修道会設立の2年前に、深堀仙右衛門司教様のおおきにより、福祉の場から小さな活動を始めました。また司教様を通して1949年修道会設立の願いが出され、1954年4月正式に認可されたという会の創立の場が福岡でした。光の園保育園の開設から古賀のオプレート会の幼稚園でも7年余り奉仕させていただき、後にカトリック光丘幼稚園の開設により主として幼児教育の道を歩きました。カトリック光丘教会での出会いはオプレート会の神父様方であり、素朴で信仰深い信徒の方々と親しみある交わりでした。福岡教区の神父様方が引き継がれてもキリストの仲間としてのきずなは小教区の味として続き、今後も続くことでしょう。福岡教区での69年間に会員一同の感謝の心を申し上げます。福岡教区がイエス・キリストの道を歩む存在として、更に豊かにされていきますように願い、お祈り申し上げます。 福音の光修道会 総長 Sr. 川岡俊子

人と人の絆を大切に、ご葬儀のご相談は
メモリーホール
薬院・油山・野芥・小田部・今宿 馬出・南福岡・大野城・飯塚
市民葬儀・法事相談センター
六本松店・赤坂店
0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115
聖マリアヘルスケアセンター
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5
TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306
信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん
と一緒に働いてみませんか
URL: http://www.st-mary-med.or.jp/

福岡教区セクハラ対応窓口
セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談
セクシュアル・ハラスメント相談窓口
電話 080-2694-4182
受付時間 月~金(祝日を除く)
10:00~12:00 13:00~16:00

キリスト教書籍・用品
お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ!
http://www.paulus.jp
パウルスショップ
メディアによる福音宣教のために...
サンパウロ福岡宣教センター
10:00~18:00(月~土)/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分*駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930